

- 13) 北川純一, 真貝富夫, 高橋義弘, 山田好秋: マウスとラットにおける舌咽神経咽頭枝のうま味応答性の比較. 日本味と匂学会第34回大会, 奈良, 平成12年10月6日, 日本味と匂学会第34回大会プログラム・予稿集: 77, 2000
- 14) 饗場広和, 山村健介, 山田好秋, 花田晃治: 咀嚼時末梢感覚が外舌筋活動に及ぼす影響について. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):260,2000
- 15) 高木正道, 山田好秋, 野田 忠: 上喉頭神経誘発性嚥下から見た嚥下中枢・咀嚼中枢・上位中枢の相互作用. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):260,2000
- 16) 小池朋江, 山村健介, 高田佳之, 高橋義弘, 平野秀利, 新垣 晋, 山田好秋: 緊張性振動反射(TVR)を用いたラット閉口筋興奮性の検討. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):260-261,2000
- 17) 平野秀利, 山田好秋: 頭位・姿勢運動記録装置の開発. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 平成12年11月11日, 新潟歯学会雑誌 30(2):266,2000
- 18) 黒瀬雅之, 山村健介, 野口真紀子, 山田好秋: 閉口筋に与えた痛み刺激が歯髄刺激により誘発される開口反射に及ぼす影響. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 304, 2001
- 19) 宮岡洋三, 宮岡里美, 山田好秋: 嚥下に関わる感覚評価. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 312, 2001
- 20) Ariyasinghe Sajjiv, 原澤陽二, 山村健介, 平野秀利, 高橋義弘, 山田好秋: Effect of peripheral sensory input on the styloglossus muscle activity evoked by stimulation of the cortical masticatory area. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 313, 2001
- 21) 梶井友佳, 真貝富夫, 北川純一, 高橋義弘, 田口洋, 山田好秋: ラット咽喉頭の酸味刺激は嚥下誘発を促進する. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 317, 2001
- 22) 福島伸一, 真貝富夫, 北川純一, 高橋義弘, 田口洋, 山田好秋: ウサギ上部食道括約部の内圧に関与する筋の神経支配. 第78回日本生理学会大会, 京都府, 平成13年3月30日, 予稿集, 324, 2001

【研究会発表】

- 1) 真貝富夫: 脂肪の美味しさの味覚機構の解明. 日本学術振興会 未来開拓学術研究推進事業1999年度報告会, 東京, 平成12年4月20, 21日
- 2) 北川純一: マウスとラットの咽頭領域におけるうま

味応答性の比較. うま味研究会, 東京, 平成12年10月1日

【その他】

- 1) 山田好秋: 特別公開介護セミナー「家庭で出来る介護術」, 基調講演と基礎学習「長寿社会と口腔ケア」, 2000年5月28日, 8月26日, 浦和ふれあい館他市内公共施設, 特定非営利活動法人エイチ・エイチ・シーホームヘルプクラブ主催
- 2) 山田好秋: 摂食・嚥下機能とその障害への対応. 2000年10月12日, 東京, 新潟大学地域共同研究センター共同研究「摂食・嚥下障害食の開発」, 亀田製菓
- 3) 真貝富夫: のどごしのおいしさの感覚評価法. ISS産業科学システムズセミナー, 平成12年12月22日, 私学振興会館, 東京
- 4) 山村健介, 山田好秋: 顔面・口腔領域に誘発される反射の変調について. 新潟歯学会誌, 30(2):225-226, 2000
- 5) 山田好秋: 介護に必要な医学的基礎知識. 平成12年度介護保険等対応歯科保健医療推進事業 歯科保健医療従事者研修会, 平成13年1月28日, 東京, 東京都歯科衛生士会

口腔生化学講座

【論文】

- 1) Ito. M., Amizuka. N., Nakajima. T., Ozawa. H. : Bisphosphonate acts on osteoclasts independent of ruffled borders in osteosclerotic(oc/oc)mice. Bone. Vol.28: in press; 2001.
- 2) Amizuka. N., Fukushi-Irie. M., Sasaki. T., Oda. K., Ozawa. H. : In efficient function of the signal sequence of PHTrP for targeting into the secretory pathway. Biochem. Biophys. Res. Commun. Vol. 273: 621-629; 2000.
- 3) Fukushi-Irie. M., Ito. M., Amaya. Y., Amizuka. N., Ozawa. H., Omura. S., Ikehara. Y., Oda. K. : Possible interference between tissue-non-specific alkaline phosphatase with an Arg54-Cys substitution and a counterpart with an Asp277-Ala substitution found in a compound heterozygote associated with severe hypophosphatasia. Biochem. J. Vol. 348: 633-642; 2000.
- 4) Amizuka. N., Whyte. J. H., Henderson. J. E., Oda. K., Ozawa. H. : The bipartite action of parathyroid hormone(PTH)-related peptide(PTHrP)mediating by binding PTH/PTHrP receptor and translocation to nucleolus. Recent Res. Devel. Endocrinol. Vol.1: 233-245; 2000.

【商業誌】

- 1) 伊藤将広, 小澤英浩: Bisphosphonatesの作用機序

THE BONE Vol.15: in press; 2001年

2) 伊藤将広, 小澤英浩: 破骨細胞の細胞死 THE BONE Vol.14: 3-6; 2000年

3) 網塚憲生, 島村拓也, 伊藤将広, 佐々木朝代, 小澤英浩: 骨転移に関わる細胞群 ホルモンと臨床 Vol.7: 585-594; 2000年

4) 網塚憲生, 佐々木朝代, 小澤英浩, 織田公光, 入江真理子: 副甲状腺ホルモン関連ペプチドの核小体移行 THE BONE Vol.14: 3-6; 2000年

【学会発表】

1) 伊藤将広, 織田公光: 致死性低ホスファターゼ症に関連した変異組織非特異型アルカリホスファターゼ(Asn153 Asp)の合成とその細胞内輸送 第53回日本細胞生物学会大会, 福岡, 平成12年10月31日-11月2日

2) 福士-入江真理子, 伊藤将広, 天谷吉宏, 網塚憲生, 佐々木朝代, 小澤英浩, 織田公光: 低ホスファターゼ症を発症する変異組織非特異型アルカリホスファターゼのヘテロ接合体の解析 第42回歯科基歯科基礎医学会, 大阪, 42, 平成12年9月

3) Ito. M., Oda. K.: Intracellular retention of tissue-nonspecific alkaline phosphatase with an Asn153 Asp substitution as a cause of lethal hypophosphatasia. 22nd Annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. Toronto, Canada, Sept, 2000., Program and Abstract, J Bone Miner. Res. Vol. 15: S488; 2000.

4) Sasaki. T., Amizuka. N., Oda. K., Ozawa. H.: Cell-to-matrix interaction for VEGF signal transduction during endochondral bone formation. 22nd Annual meeting of the American Society for Bone and Mineral Research. Toronto, Canada, Sept, 2000., Program and Abstract, J Bone Miner. Res. Vol. 15: S243; 2000.

5) 羽尾奈津子, 程 王君, 木村 信, 依田浩子, 坂井英昭, 織田公光, 高木律男, 朔 敬: 骨形成過程における基底膜ヘパラン硫酸プロテオグリカンの発現 第89回日本病理学会総会, 大阪府, 平成12年4月11-13日, 日本病理学会会誌, 89(1) 332

6) Takahashi. T., Mizuno. T., Ito. T., Nagata. S., Iwata. R.: Development of [¹⁸F]labeled pharmaceutical for pet studies. Separation of fluoro-compounds from bromo-compounds. Fifth Japan-China joint seminar on radiopharmaceutical chemistry(JCSRC2000), Sendai (Tohoku University) September 25-27, pp19-20, 2000.

7) 水野 徹, 飛田 滋, 山田昭司, 高橋俊博: LSCによるチエレンコフ計測の精度(7) Dry-counting法による義歯の劣化の測定 第37回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 東京, 平成12年7月3日-5日, 56

8) 竹内由一, 佐藤幸一, 小林富貴子, 林 孝文, 伊藤寿介, 水野 徹: 顎顔面領域ヘリカル検査時の室内3次元散乱線分布について(第3報) 第37回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 東京, 平成12年7月3日-5日, 108

9) 山田昭司, 水野 徹, 高橋俊博: 高濃度放射性LSC廃液のActivated Charcoal処理(2) 第37回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 東京, 平成12年7月3日-5日, 109

10) 山田昭司, 水野 徹, 高橋俊博: 高濃度放射性LSC廃液のActivated Charcoal処理(3) 第37回理工学における同位元素研究発表会要旨集, 東京, 平成12年7月3日-5日, 110

【研究会発表】

1) 小澤英浩, 網塚憲生, 伊藤将広: がん骨転移とその抑制機構に関する微細構造学的研究の形態学的検討「がんの骨転移機序の解明と骨転移の予防および治療法の開発」研究班会議, 東京, 平成12年11月17日

2) 山田昭司, 水野 徹, 馬場貞雄, 高橋俊博, 平山繁: 高濃度放射性LSC廃液のActivated Charcoal処理(2) Tea Pack法による3Hの除去 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集, つくば(つくば国際会議場), 平成12年11月16日-17日, 82-83

3) 山田昭司, 水野 徹, 馬場貞雄, 高橋俊博, 平山繁: 高濃度放射性LSC廃液のActivated Charcoal処理(3) Tea Pack法によるSilica GelとAlumina処理の比較 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集, つくば(つくば国際会議場), 平成12年11月16日-17日, 84-85

4) 山田昭司, 水野 徹, 馬場貞雄, 高橋俊博, 平山繁: 高濃度放射性LSC廃液のActivated Charcoal処理(4) スラリー(使用済み吸着材)のアルコール処理 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集, つくば(つくば国際会議場), 平成12年11月16日-17日, 86-87

5) 山田昭司, 水野 徹, 馬場貞雄, 高橋俊博, 平山繁: 高濃度放射性LSC廃液のActivated Charcoal処理(5) アルコール洗浄液の活性炭処理 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集, つくば(つくば国際会議場), 平成12年11月16日-17日, 88-89

6) 飛田 滋, 水野 徹, 山田昭司, 高橋俊博: 入れ歯はどうして 水の中で保存しなければいけないのか LSCによるチエレンコフ計測のDry-counting法で探る 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集, つくば(つくば国際会議場), 平成12年11月16日-17日, 90-91